



## ～自分自身から始める【最初の一步】～

この私、年齢を着々と重ね振り返れば半世紀をとっくに超えてしまった“いい”おばちゃんである。もっぱら今は、ゴールの見えないダイエットに挑戦中であるが、常日頃から運動する習慣のない自分にとっては大きな壁となつてのしかかる☺

『物事を始めるのに遅いということはない』と誰もが耳にしたことがあると思う。これは色々な分野で言えることであり、特別なことではない。ならば人権問題についてはどうなのか？広い視野で考えてみた。

『今更自分一人が何かしても意味がない』『上の世代の考えを変えるのは難しい』『放っておけばいずれ無くなる』といった消極的な意見が往々にしてある。しかし、今もなお残っている人権問題はそのまま放っておいては無くすることが出来ないものばかりだ。

例えば、昔から引き継がれてきた偏見からいわれのない差別を受ける部落差別。他にも、周囲の理解が得られず社会の中で生きづらさを抱えてしまうセクシャルマイノリティ等の人権問題に対して、誤った情報や差別・偏見を助長するような内容の情報があふれている。現代の私たちは、差別はいけない事！と誰しもが頭では理解していても、差別事象の場面に直面した時に傍観者になってしまったり、巻き込まれたくない等の思いから見て見ぬ振りをしてしまっていないだろうか？様々な差別問題を解消していく為には、差別や偏見を拡げないよう小さなことでも個人個人がそれぞれ声をあげ行動することを心がけることで、少しずつでも変わっていけるはず…と信じている。

自分が変わるための【最初の一步】として、ダイエットも人権問題解決に向けての活動も…まずは一步踏み出したい。

PN.おばちゃんをつぶやき

